

西脇市学校部活動地域移行検討会議の記録

|               |  |
|---------------|--|
| 会議等の名称        | 第2回西脇市学校部活動地域移行検討会議  |
| 開催日時          | 令和6年9月10日（火）<br>午後7時00分～午後8時55分  |
| 開催場所          | 西脇市役所大会議室（3階）  |
| 出席委員の氏名又は人数   | 13人  |
| 欠席委員の氏名又は人数   | 2人   |
| 出席職員の職・氏名又は人数 | 9人   |
| 公開・非公開の別      | 公開   |
| 非公開の理由        | —  |
| 傍聴人の数         | 6人   |
| 議題又は協議事項      | ○第1回会議のまとめ<br>○意見交換<br>・基本方針の策定について<br>・西脇市における地域クラブの姿について   |
| 会議の記録（概要）     |  |
| 発言者           |  |
| 事務局           | <p>《報告事項》<br/>（資料1を説明）<br/>（意見なし）</p>  |
| 事務局<br>事務局    | <p>《協議事項（1）基本方針の策定》<br/>（資料2を説明）<br/>前回の意見の中で、「私たちが若かったときは、先生に部活動をみていただいて、大変ありがたかった」とか、「今後もみていただけたら」という意見もあった。しかし、参考資料として配っている「学校における働き方改革に関する緊急対策」「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革の概要」で、部活動は学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務であることが示されている。地域の方にもどんどん指導に入っていたらきたい。昔とは違い、何が何でも先生というところではない。<br/>国の方針や県の推進計画に沿った形で、基本方針を</p> |

|     |   |
|-----|---|
| 委員  | <p>定めていきたい。地域移行は、休日の活動から、今ある部活動から、まずは始めていきたい。</p>   |
| 委員  | <p>国や県に関しても、働き方改革をメインとして、地域移行をしなくてはいけないことはよくわかる。西脇市として、親たちに早めに伝えないと、理解が得られないと思う。</p>  |
| 委員  | <p>また、やはり送迎が親の負担になる。大会のたびに子どもたちが自転車で行く現状もあると思う。行く場所によっては、整備がされていない部分も非常にたくさんあると思う。そういう部分の整備も含めて、検討した方が理解を得られやすいと思う。</p>   |
| 事務局 | <p>土曜日に地域クラブで活動するのは学校部活動の延長での活動なのか、全く関係なく地域クラブでの活動という形を考えているのか。指導者がいて、そこに別のサポートに入るコーチがいて、それぞれ違うことを言われることがある。そうすると、子どもたちはどちらを信用したらいいか悩むことを見たことがある。</p>   |
| 委員  | <p>学校部活動と地域クラブでの活動は別モノである。学校部活動は、学校が主体となって、学校の先生が指導される。地域クラブでの活動は、地域の方が主体となって行う。ただ、言われるように、学校に指導者がいて、地域にも指導者がいる状況では、教えることが違ってくることの心配は当然ある。そのあたりは、基本方針にもあるように、学校との連携が大事になってくる。学校との連携も大切にしながら、両者が成り立つような形ですすめていきたい。</p> |
| 委員  | <p>令和9年度の休日は、学校部活動が主体となって地域に助けてもらうのか、それとも地域クラブに移行してしまっ、その地域クラブの方が主体となって、その練習を学校が平日に行うのか。今は学校主体のところに西脇市吹奏楽団さんとかが来てくれ、学校に合わせてくれている。主体が地域に移るのなら、その趣旨をくんで学校も動くことになるのか。</p>  |
| 委員長 | <p>一番重要なところであろうと思う。これをどう考えるのか、すごく重要なところだ。</p>   |
| 委員  | <p>美術の方から言わせてもらおうと、配色や光とか、指導者の色とかがよく出てくる。学校主体なら学校の先生の指導、我々なら、ちょっと方法を変えた方が面白いのではないかという指導をやってみる。となれば、</p>   |

|    |  |
|----|--|
| 委員 | <p>技術的なことは、地域の方が主となって指導してもらいたい。二本立ては、困る。</p> <p>部活動をする目的として大会をするとか、発表するとかがあると思う。土曜日に学校の先生は関わらないということになれば、その大会などはどのような形になるのか。</p> <p>急に地域に移行すると大変なので、しばらくは中学校に預かってもらいながら、というのは、国や県、市としてはどう考えているのか。子どもたちは、自分が平日に練習してきたものを成果として味わいたいということは大きな目標である。日々の練習の成果を国はどのように考えているのか。</p>       |
| 委員 | <p>平日は私が指導して、土日の練習試合や大会やコンクールには、私は見られないことになる。国の施策でもあるが、委員の言われることには、誰も上手く答えられないのではないか。ただ、現場の教職員にとっては、すごく不安になるということは確かである。一生懸命に種をまいて、成果を見られる時だけ行けないというのは、教師ならすごく嫌なのかなと思う。</p>  |
| 委員 | <p>その地域クラブに主体を置くということで、学校はもう完全にサブに徹するというのなら、その線引きと、その方向性がはっきりすれば動いていくことは間違いない。</p>   |
| 委員 | <p>学校から部活動そのものが無くなるという考えもあると思う。しかし、ゴールがいつになるか。受け皿という言葉ではなく、活動する場所を確保することも、この中で考えていかなければならない。</p>   |
| 委員 | <p>私は今、中学生の硬式野球のクラブチームの指導に携わっている。この9月の三連休からいよいよ中体連に所属していた子を預かる。子どもたちは、真剣にプロ野球選手になりたい、甲子園に出るという気持ちで来ている。そこに中体連から上がってきた子を入れると、果たしてどのような現象が起こるのか心配する。</p> <p>市外中学校の子どもが2人来る。その2人を預かることによって、その噂が広がると、入部者は増える。増えるのはいいが、指導者が持ちこたえられるのか。はじめの一步として始めるが、目指す姿にある学校との連携というのが、我々にとって一番難しい。</p> |
| 委員 | <p>この移行期間は必要なかと思った。移行期間を設</p>  |

|     |   |
|-----|---|
| 委員  | <p>けることで問題点が出てくるのかなと思った。指導者をボランティア等で募りながら、できるだけ負担の少ない方法でできないのかと思った。</p> <p>早めに、いついつで部活動を終了とする周知が必要である。その終わり方である。</p> <p>スポーツ少年団の会議で、その問題も出ていた。西脇市の今の流れとしては、どちらがいつまで、どうするのかという話しか、今は読めていない。結局、犠牲になるのは子どもたちだと思うので、その辺のところをはっきりしてやらないといけない。</p> <p>スタッフと黒田庄のバレーボールとして中学生を受け入れたらどうかという話をしたが、休日とはいっても、土日は、年間40回ぐらい大会に参加している。ほとんど土日は一日練習か遠征、もしくは試合が入るので、その辺のこともしっかり考えなければならない。</p> <p>どちらが主体で動くのかという話など、地域移行をするのであれば、地域の指導者の思いをしっかりと読み取ってもらわないと、杓子定規な決め事をされると、そんなのであればできないという話がどんどん出てくると思う。その辺は、やはりスムーズに移行ができるような話し合いをしながら進めていかないと、途中で萎んでしまい、子どもたちはどこにも行けないという状態になると思う。</p> |
| 委員  | <p>保護者としては、活動が自主運営になっていくと、経済的困窮家庭の子どもは部活もできないことになるので、お金に関しての考えについても含めて検討しないといけないと思う。</p>  |
| 委員長 | <p>皆さんが理解される共通の部分として、もう学校で面倒をみてやってきた、いわゆる学校部活動で中学生が活動するというのは、将来的にはなくなるというイメージである。何かに所属みたいなことでもなくて、地域でいろいろな活動をしている場に参加するということも、当然あり得る。あるいは、地域でもう既にやっているクラブチームと言われるものに参加する場合もある。少年団という形のところに中学生も継続的にやっていくような、本当に種目によっては様々な展開が、これから出る。</p> <p>それで、なぜそこまでしなければいけないのか。世の中の働き方改革が加速させたことは事実である。学</p>  |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>校の先生のために部活動が変わっていかざるを得ないことも理解をしていただきたい。</p> <p>いわゆる移行期、つまり両方の制度が併存しているところが、一番悩ましい。指導者が複数いたときに、本当は子どものために仲良くして、わかりやすくやればいいのだが、残念ながら、ズレなどがあることも事実である。</p> <p>今日の原案は、西脇市はまず休日から移行する形にしたところだが、それがどうなのかというところは、やはり考えていく必要もあるかもしれない。</p> <p>保護者や子どもたちにとって、部活動は完全に平等ではないが、比較的安い形で行われていた。それが移行して地域で行うときには、受益者負担ということが少なからず出てくると間違いなく思う。仮に受益者負担になっても、ある部分は市町が負担するところもあるし、自治体的には無理なので完全受益者負担とする市町もあり、地域によって差は現実にはある。さらに、最低限、今の中学校でしている活動の種目は担保して用意してやりたいが、指導者や受け皿が準備期間の間に出てこなければ、その時には移行できないと宣言しているところもある。子どもたちのためであることは間違いがないが、大人が市民として何ができるのかを試されているのが、今回の大改革だろう。</p> <p>現実、アートの方は、移行しやすいと思う。個人プレーなので、キャンパスや絵具ですむ。現在、私はいろんな場所で5歳から小学6年生まで教えているが、その子は中学生とか高校生になるときに、アピカやミライエなどを利用してやればできるとは思う。</p> <p>すでに民間の方も、活動の中に入れて展開しようというところもある。プログラミング教室だとか、学校部活動ではなかったダンスとか、アートのなものも含めて。しかし、それはある程度、お金も発生するし、もう民間でやっているなので、わざわざ別にこの今回の取り組みの中に入れていく必要もない団体もある。</p> <p>実際に手を挙げて本当にやってただけの地域の方の調査をして、結果を開示してほしい。子どもに何か習わせようとするときに、そこから選ぶと思う。</p> <p>西脇市としては、地域移行の地域とは西脇市が対象なのか、多可町や三田市とか加東市など、そういう地</p> |
| 委員  |  |
| 委員長 |  |
| 委員  |  |
| 委員  |  |

|            |  |
|------------|--|
|            | <p>域も含めての地域移行として考えが進んでいるのか。</p> <p>私は、西脇のジュニアクラブの陸上競技もやっているが、多可町や丹波市、加東市からも小学生が来るようになった。部活動を全部地域移行するとしたら、他市町からの出入りも認めるような地域クラブにしていくのか。</p>   |
| 事務局        | <p>エリアがどの範囲かについては、まだ決まっていない。西脇市だけになるのか、近隣も交えてするのかわというところは、今後の話になる。</p>   |
| 委員         | <p>新たに踏み出そうとする場合は、予算が一番先に発生する。市は予算的な部分も含めて考えているのか。</p>   |
| 事務局        | <p>予算の話は、県の計画にも詳しく示されていない。国からの一部支援の中で試行、先行実施している市町はある。試行・実施をして、例えば令和7年からモデル事業として、支援のあり方など研究をしたい。</p>   |
| 委員         | <p>例えば同じ種目でも、目指すところが違っていて、いろいろなチームができて、それは大丈夫か。</p>  |
| 委員長        | <p>理想的には、まさに、そういう可能性が種目によってはできたら、ということもある。その際には移動の問題が必ず出てくる。</p>   |
| 事務局<br>委員長 | <p>《協議事項 (2)活動のイメージ》<br/>(資料3を説明)</p> <p>1点目は、休日の活動について、令和9年度に向けて地域クラブの整備に取り掛かるということ。2点目は、今後は学校に無いものも当然対象にはなるが、当面は、今、学校でやっている活動内容の部分のものを子どもたちに保証するということを前提に、そこをターゲットに進めていくということ。</p> |
| 委員<br>委員長  | <p>指導者のこと、予算のこと、地域の範囲のことなどは次回等になる。</p> <p>平日は、9年度まで今まで通り学校での活動か。</p> <p>平日完全移行への取り組みというところも、模索しながら進めるが、何年度とは現段階では宣言していない。第1段階として、休日について令和9年度に移行ということである。</p>                         |
| 委員         | <p>私は吹奏楽をやっている。休みの日だけ集まってみんなですらやってみよう、ということは無理である。毎日すごく練習をして、やっと何かが積み重なったものが</p>   |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | <p>でき、子どもたちがどんどん成長していくところをみている。令和9年度までは、毎日練習はできる。9年度のところで、休日の学校部活動は無くなる。毎日の練習はできなくなる。</p> <p>令和9年にこうなると、学校の部活動がこうなるといイメージだが、これを、平日の部分も地域という形を、令和7年・8年あたりから一緒に、そういう準備を可能なところからしていく。平日の、例えば吹奏楽であれば、平日でも月・火・水とかの日どこかに集まって、そこで平日でもやるということは、受け皿が出てくれば、それは実現する可能性があると思っている。</p>  |
| 委員  | <p>移動して練習するのは難しい。学校の部活動は、学校の授業があって、授業が終わってそこから移動する必要がなく、その場ですぐに活動ができて、そこで練習が終われば帰宅することができるというのが、すごくメリットだと思う。その移動時間も、できるだけ無いように考えたい。</p>  |
| 委員長 | <p>学校では、部活動のスタートは順調にいつでも午後4時。その時間帯に、世話になれる人は、リタイアされた方しか、対象にはなっていないだろう。そのような状況の中で、やはり現実的には、もし平日にやるなら、夜に再集合をする場合もある。</p> <p>平日から休日全部ワンセットで、みんなが同じ船に乗ってやってきたこと自体を脇に置くことが、改革の一つでもある。</p> <p>新しい、何か学校における部活動みたいなものを、もちろん先生方の勤務時間の範囲の中でとかを検討する余地はあるのかも知れない。その時には、先生はずっとつきっきりで子どもたちと楽器を、あるいは個人練習をしたりとか、休日にはしっかりとした合わせ練習をしたりなんてところもあるかもしれないし、そのあたりも合わせて、これは必ず出てくる問題だということ、地域移行、地域に展開していくのに、学校ですべてをなくすのがいいのかどうかは、考えていけば少しは解決になるかもしれないなと感じている。</p> |
| 委員  | <p>アスリートを目指すのか、スポーツに親しむ子たちを育てていくのかというところで、本当に上を目指そうという子たちは、外部チームに行って、専門的なプ</p>   |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>レーや技術などを磨きながらやっていくと思う。</p> <p>学校で何ができるかといえば、今言われたように、同好会的な誰でも参加できるもの。週1回1時間、活動日時を決めてやることができれば、それが午後4時から始まって、4時45分で終わるとかであれば、やれる人はいるかなと思う。ただ、今までの部活動と並行して、最初は話に出てきた休日に教師の兼職兼業を主体でいくのであれば、どの部活が、それができそうなのかと取捨選択しながらやっていかないと、全部の部活動をやるというのは、難しいのではないか。</p> <p>当面、事務局が提案する既存の学校部活動の種目を中心に、休日の学校部活動地域移行をしていくことからスタートしながら、そのゴールは9年度ということを目論んでおくことを、今日のところは押さえておきたい。</p> <p>市民にもこの問題の大変さと、でも夢のある部分の周知をマメにしながら進めていけたらよいと思っている。</p> |
| 委員長 | <p>この会議の趣旨は、地域移行はいつかするが、地域連携型をどのようにやっていくのかを、今後、話し合ったらいい会議なのか。ゴール点と、会の運営の目標を最初に固めてもらえれば話しやすい。</p>  |
| 委員長 | <p>県の推進計画では、基本は地域移行型にしたいが、地域の実情もあるので、地域連携型、ハイブリッド型が示されている。大きな違いは、地域移行とは、完全に学校教育や学校管理下ではないこと。だから、今回も、休日だけにせよ、これは学校教育の範疇ではないので、西脇市は一応休日のみの地域移行型になると捉えていただけたらいいと思う。地域連携というのは、今までしてきたことを拡大するだけである。しかし県は、自治体によっては移行できないところがあるだろうから、緊急避難的にとしている。その意味では、地域移行と捉えてもいいと思う。ただ、その際には平日もセットではないので、平日と休日の連携や保険のことなどのガイドラインを作らないといけない。</p>   |
| 委員  | <p>指導する時間帯についても、平日の昼間などの時間帯の指導には無理がある。夜間の活動も必要ではないか。</p>  |
| 委員長 | <p>文言で明確に表現をしていく必要があるので、今後の</p>   |

|      |   |
|------|---|
| 事務局  | <p>運営と、イメージを次回へと膨らませてもらえるように、事務局でお願いしたい。</p>  |
| 事務局  | <p>先ほどの意見の中で、地域にどれぐらい受け入れてくださる方がいるのか、意向調査を、という意見もあったので、受けていただける方を見つけるためにも、地域で活動されている団体、個人に対し、アンケート調査を実施するので、協力をお願いする。</p>                         |
| 委員   | <p>教職員には何度もアンケートを取っているので、教職員だけではなく、全部に配る。費用についても、いくらぐらいの予算で、いくら出したら引き受けてくれるのかを具体的に周知してアンケートを取らないと、同じアンケートが何回も繰り返されるだけで、先に進まないと思う。</p>             |
| 委員長  | <p>西脇市にしても、先生にはいろいろなアンケートが数回行われている。ある市は、先生に具体的な年齢を聞いて、そしてできそうな種目、何人ぐらいで、何年ぐらいは大丈夫かとか、そこまで取らないといけないと思う。何か条件が合えば指導したい、というのは、もういい加減にしないといけないと思う。</p> |
| 事務局  | <p>《 次回の会議予定 》</p> <p>第3回目は、11月28日(木)午後7時から、この会場で予定する。</p>  |
| 問合せ先 | 生涯学習課（内線4050）   |